

# 第2学年英語科学習指導案

指導者 多田 晃子

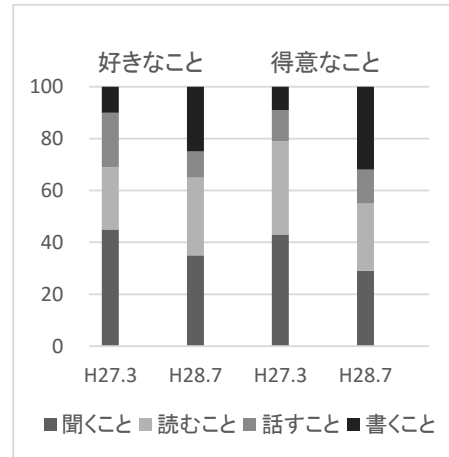
- 1 日時 平成28年11月16日(水) 第6校時
- 2 学級 一関市立大東中学校2年B組 男子13名 女子10名 23名 (2年B組教室)
- 3 単元名 PROGRAM9 A Video Project (開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

## 4 単元について

学校紹介がテーマの題材である。自分の学校の紹介は生徒にとって大変身近なテーマであり、外国の方との交流においても中学生にとっては必要性が高いものであると考える。言語材料は比較表現の第一段階であり、-er, -est, as - as, に限定されてしまうが、単元のゴールは「大東中学校について英語で紹介しよう」とした。more, most型の単語を使いたい生徒が出てくることも予測されるが、必要であれば適宜教えることとし、題材を生かした単元のまとめの活動をさせたいと考えた。比較表現を学びながら、自分たちの学校や活動について振り返り、表現する機会としたい。

昨年度11月のCRT調査では「書くこと」の観点の本校正答率は43.3% (全国比-8.8)であったが、1月のCAN-DOテストでは50.8% (県比+2.2)「表現の能力」43.0% (県比+2.7)であった。また、授業で行ったアンケート結果でも「書くこと」に対する苦手意識が改善し、むしろ得意なこととして捉えている生徒が増えてきている。(好き10%→25%, 得意9%→32%)表現の機会やライティングテストを定期的に行ってきたことで、書くことの楽しさや力がついてきていることを実感できている生徒が増えてきたことがこのような結果に繋がっていると考えられる。

今後は指導者、生徒ともに1時間の授業の中でより多くの英語を使うことに意識を向け、4技能のバランスに配慮した授業を組み立てていきたいと考えている。生徒が互いに支え合いながら学習を深め、間違いを恐れず積極的に自分の思いや考えを相手に発信できる生徒の育成に努めていきたい。



## 5 単元の指導と評価の計画

### (1) 単元の目標

- ①大東中学校について英語で紹介することができる。

【外国語表現の能力】

- ②相手と伝え合うことを意識して、各活動に参加している。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ③形容詞の比較級(-er), 最上級(-est), 同等比較(as-as...)を含む英文の構造や意味を理解している。

【言語や文化についての知識・理解】

### (2) 単元のシラバス (別紙の通り)

## 6 本時について

### (1) 本時のねらい

本時は、比較表現の2時間目の授業である。単元のゴールや目指す生徒像に向け、キーワードを確認しながら英文を理解し、英語で話したり書いたりする練習を繰り返すことで表現力を鍛えていくことをねらいとしている。正確性よりも積極性や自分のことを発信する力に重きをおき、繰り返し使用させることを通して定着させていきたい。

### (2) 授業づくりの視点 (研究テーマに関わって)

- ①「いわての授業づくり3つの視点」から

#### 【1 学習の見直し】

- ・各単元で「振り返りカード」を作成し、単元の最初の授業で単元のゴールの活動までの流れを確認する。
- ・「振り返りカード」で、各授業のゴールを確認する。

#### 【2 学習課題を解決するための学習活動】

- ・学習活動を行う上での重要な点(評価規準)は、全体で共通理解を図る。
- ・学習内容によって、学習形態(ペア、グループ活動)を変え生徒相互の学び合いを図る。
- ・生徒個々が安心して学習に臨むことができる授業づくりを行う。  
(学習規律・学び合いの徹底)

【3 学習の振り返り】

- ・ 活動の評価規準を達成できたか、相互評価と自己評価を行う。
- ・ 本時でできたこと/できなかったこと、次回頑張りたいことなどを文章で記述し交流する。

②生徒指導の視点から

【1 学習サイクルづくり】

- ・ 授業と連動した家庭学習を出し、本時の授業→家庭学習→次時の授業のサイクルを構築する。
- ・ 言語材料の理解、練習（基礎）と実際に考えや気持ちを伝え合う活動（活用）を単元の中でバランス良く、繰り返し行う。
- ・ 教科書は2冊合本し、常に前学年の学習内容を振り返ることができるようにする。
- ・ 定期テスト後に「テスト分析ノート」を作成し、それまでの学習やテスト取組の振り返りを行う。

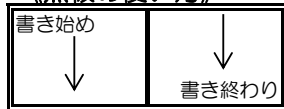
《英語科における家庭学習例》

- ・ エイゴラボ（教科書準拠ワーク）
- ・ Basic Dialog読み書き（基本の対話文）
- ・ マッピング、リテリング、リライト
- ・ 教科書等の音読
- ・ 英作文の下書き、清書
- など

【2 ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた授業】

- ・ 活動の際、気をつけてほしい事柄については、黒板に紙板書を掲示し注意を促す。
- ・ 語句導入の際、語句を絵や写真とともに示し、理解を促す。（視覚補助）
- ・ 黒板、チョークの使い方、グループ活動については、英語科で統一する。

《黒板の使い方》



縦に2分割（白線で縦線を引く）

《チョークの使い方》

- 青：学習課題枠、「主語」波線
- 赤：まとめ枠、「動詞」二重線
- 黄：重要事項

※青、赤は線のみ。文字を書く際は使用しない。

《グループ活動》

- ・ 人数は3人または4人とする。
- ・ グループ活動の際は、必ず机を合わせる。（ただし黒板に背を向けない。）
- ・ 活動後、その都度机を戻す。（個やペアの活動はそのまま行わない。）

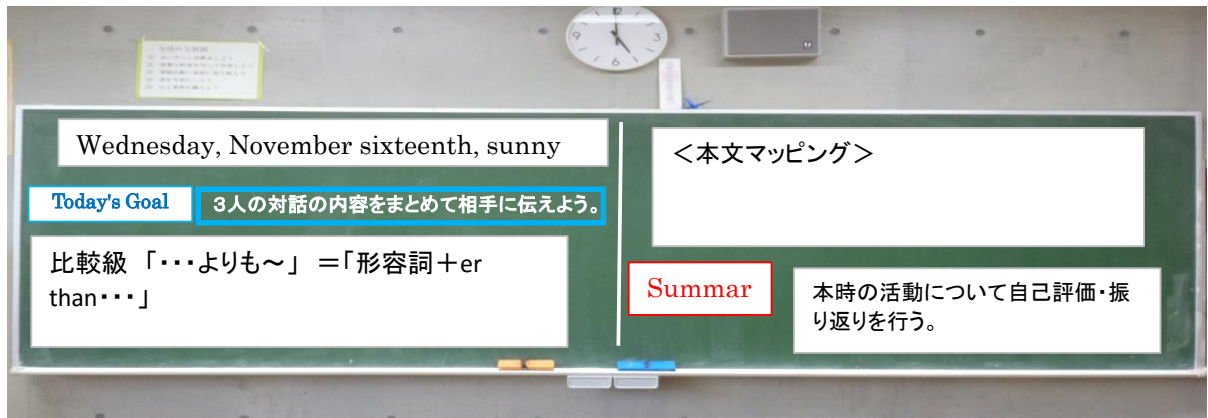
(3) 本時の目標

- ①相手と伝え合うことを意識して、英語を話したり聞いたり書いたりしている。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ②教科書本文の3人の対話の内容をまとめて相手に伝えることができる。  
【外国表現の能力】

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導の留意点	評価、授業づくりの視点																				
導入 10分	1. 挨拶	1. 英語学習の雰囲気をつくる。	②【2 UDの視点】 ①【1 学習の見通し】																				
	2. 復習	2. 前時の学習内容を復習する。 ・紙板書等を使い、視覚でも確認できるようにする。																					
	3. 学習課題の共有	Today's Goal 3人の対話の内容をまとめて相手に伝えよう。																					
展開 35分	4. 進出語句の確認	4. 絵や英文から語句の意味を推測させる。	②【2 UDの視点】																				
	5. 教科書内容把握	5. キーワードを書き込みながら、内容を理解させる。 ・グループになり活動させる。	①【2 学習活動】																				
	6. 音読練習	6. 一斉練習 → 個人練習	①【2 学習活動】																				
	7. スピーキング	7. ペアで本文に関して話す。 ・事前に評価規準を与える。 【評価の基準（summary参照）】 ①語数（A：40語 B：30語以上）②正確性 ③独自性	◆関・意・態																				
	8. ライティング	8. 話した内容を文字で書き起こす。	◆関・意・態 ◆外国語表現																				
	9. 相互評価・自己評価	9. ペアで評価、アドバイスを行う。 ・ペアでの評価の仕方は、あらかじめ確認しておく。 ・記録用紙に自分で記録する。	①【2 学習活動】																				
<p>Summary</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観点</th> <th>0点</th> <th>1点</th> <th>2点</th> <th>3点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語数</td> <td>英文が書かれていない。</td> <td>目標語数（B）にとどかない英文。</td> <td>目標語数（B）を超えて、英文を書くことができています。</td> <td>目標語数（A）を超えて、英文を書くことができています。</td> </tr> <tr> <td>正確性</td> <td>英文を書いていなかったり、テーマから外れたことを書いている。</td> <td>文法上の誤りがあるため、伝えたい内容を理解できなところが多々ある。</td> <td>文法上の誤りがあるため、考えが十分に伝わらないことが部分的にある。</td> <td>英文の使い方がほぼ正しく、十分に考えを伝えることができています。</td> </tr> <tr> <td>独自性</td> <td>自分の考えや気持ちについての英文が書かれていない。</td> <td></td> <td></td> <td>テーマに関して、自分の考えや気持ちを付け加えることができています。</td> </tr> </tbody> </table> <p>表現活動において、右の基準に則り、評価と振り返りを行う。</p>				観点	0点	1点	2点	3点	語数	英文が書かれていない。	目標語数（B）にとどかない英文。	目標語数（B）を超えて、英文を書くことができています。	目標語数（A）を超えて、英文を書くことができています。	正確性	英文を書いていなかったり、テーマから外れたことを書いている。	文法上の誤りがあるため、伝えたい内容を理解できなところが多々ある。	文法上の誤りがあるため、考えが十分に伝わらないことが部分的にある。	英文の使い方がほぼ正しく、十分に考えを伝えることができています。	独自性	自分の考えや気持ちについての英文が書かれていない。			テーマに関して、自分の考えや気持ちを付け加えることができています。
観点	0点	1点	2点	3点																			
語数	英文が書かれていない。	目標語数（B）にとどかない英文。	目標語数（B）を超えて、英文を書くことができています。	目標語数（A）を超えて、英文を書くことができています。																			
正確性	英文を書いていなかったり、テーマから外れたことを書いている。	文法上の誤りがあるため、伝えたい内容を理解できなところが多々ある。	文法上の誤りがあるため、考えが十分に伝わらないことが部分的にある。	英文の使い方がほぼ正しく、十分に考えを伝えることができています。																			
独自性	自分の考えや気持ちについての英文が書かれていない。			テーマに関して、自分の考えや気持ちを付け加えることができています。																			
終末 5分	10. 振り返り 11. 次時の確認 12. あいさつ	10. 本時の学習活動を振り返る。 ・振り返りシートで自己評価を行う。 11. 次時の授業の連絡を行う。 ・課題の指示。 ・次時の学習内容の確認。	①【3 振り返り】																				

(5) 板書計画







5 (2) 単元のシラバス(PROGRAM 9)

単元 時数	単位時 学習範囲等	小単 元 ペー	学習課題	評価・確認事項 (まとめ)	授業の評価確認問題等 ◇言語材料 ◆活動評価基準
9①	A Video Project	7-1 (P80)	2つのものを比べて説明できるようになろう。	・比較級 (形容詞 + -er than...) を用いて2つのものを比べて説明することができる。(知・理)【後日テスト】	◇比較級 (形容詞 + -er than...)
9② 本時	A Video Project	7-1 (P81)	3人の対話の内容をまとめて相手に伝えよう。	・自分の言葉で、本文の内容を相手に伝えようとしている。(関・意・態)【観察】 ・評価基準を意識しながら英語を話したり、書いたりすることができる。(表現)【シートチェック】	◆スピーキング・ライティングにおける評価基準 ①分量 (40語以上A 30以上B) ②正確性 (新出表現含む), ③独自性 (自己表現文を加えている) の観点に気をつけ表現しているか
9③	A Video Project	7-2 (P82)	3つ以上のものを比べて説明できるようになろう。	・最上級 (the 形容詞+ -est) を用いて、3つ以上のものや人を比べて説明することができる。(知・理)【後日テスト】	◇最上級 (the 形容詞+ -est)
9④	A Video Project	7-2 (P83)	武史の発表の内容をまとめて相手に伝えよう。	・自分の言葉で、本文の内容を相手に伝えようとしている。(関・意・態)【観察】 ・評価基準を意識しながら英語を話したり、書いたりすることができる。(表現)【シートチェック】	◆スピーキング・ライティングにおける評価基準 ①分量 (45語以上A 35語以上B) ②正確性 (新出表現含む), ③独自性 (自己表現文を加えている) の観点に気をつけ表現しているか
9⑤	A Video Project	7-3 (P84)	同じくらいのものを説明できるようになろう。	同等比較 (as ~ as...) を用いて、同じくらいのものを比べて説明することができる。(知・理)【後日テスト】	◇同等比較 (the 形容詞+ -est) ・not as ~ as - = 「-ほど~でない」
9⑥	A Video Project	7-3 (P85)	桃子の発表の内容をまとめて相手に伝えよう。	・自分の言葉で、本文の内容を相手に伝えようとしている。(関・意・態)【観察】 ・評価基準を意識しながら英語を話したり、書いたりすることができる。(表現)【シートチェック】	◆スピーキング・ライティングにおける評価基準 ①分量 (45語以上A 35語以上B) ②正確性 (新出表現含む), ③独自性 (自己表現文を加えている) の観点に気をつけ表現しているか
9⑦	A Video Project	P80- 85	大東中学校について英語で紹介しよう。	・自分の言葉で自分の学校について紹介することができる。(表現)【シートチェック】	◆ゴールの活動における評価基準 ①文量 (50語以上A 30語以上B), ②今回学習した比較の表現を2種類文以上入れる。③自分の考えや感情を表現する文を入れる。
9⑨	A Video Project	P80-85	単元の学習内容を振り返り、現在の自分の到達度を知ろう。		

